（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	星の王子さま２			
○保護者評価実施期間	令和　7年　10月　6日	～	令和　7年　10月　17日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	令和　7年　10月　6日	～	令和　7年　10月　17日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和　7年　11月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援の提供。	・こどもと保護者のニーズや課題にあった活動内容を職員で話し合い、個別支援計画書に反映している。 ・それぞれのこどもに必要な経験を取り入れた活動プログラムを毎月検討し、実施している。	・引き続き、丁寧な支援に努めていく。
2	・定期的に、面談や子育てに関する助言等支援を行っている。	・定期的な面談の他に、保護者からの相談や子育ての悩み等を電話や送迎時に伺っている。	・引き続き、丁寧な対応に努めていく。
3	事業所の支援に満足している。	・長期休みや祝日は外出や買い物学習、昼食作りなどの活動を取り入れ、社会経験を積めるようにしている。	・引き続き、こどもと保護者のニーズを把握し、よりよい支援に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修の取り組みはできていない。	・現状では、個別相談には対応できているものの、家族支援プログラムや研修会、広い保護者向けの情報提供が不足しており、保護者のニーズも把握できていない。 そのため、保護者のニーズ調査の実施、家族が参加できる研修会やペアレントトレーニングの導入検討、複数の保護者へ向けた情報提供体制の整備などに努めていく。
2	・環境（スペース・バリアフリー化）、体制整備（人員配置）。	・利用者が多い時間は狭く感じられる。 ・職員配置に問題はないが、職員不足で加配職員を配置できない日がある。 ・構造上オールフラットではないが、簡易的なバリアフリーになっている。	・構造上、広くすることは不可能ですが、限られたスペースを活動に合わせて配置を変えることで環境を整えていく。 ・限られた職員体制の中でも安心・安全な受け入れができるよう、職員間のチームワークを円滑に行い、児童が安心・安全に利用できるよう努めていく。 ・建物自体は完全なバリアフリー構造ではないものの、利用者の安全性と利便性を高めるために、可能な範囲でバリアフリー化に取り組んでいる。具体的には、室内の段差を解消するために簡易的なスロープを設置し、移動しやすい動線の確保に努めている。また、玄関部分には可動式スロープを設けることで、段差による負担を軽減し、車いす利用者や足元に不安のある方でも出入りがしやすい環境を整えている。今後も、より快適で安全な環境づくりに向けて、改善に向けた工夫や取組を検討していく。
3	・非常時等の対応について周知が徹底されていない。	・事業所では様々なマニュアルや計画を策定しているが閲覧についての案内が不十分。 ・非常災害に備えた訓練も実施し、当日の連絡帳やお便り等でお知らせしている。 ・事故発生（怪我等）が発生した際には、保護者に直接説明し、その後の対応を相談している。	・各種マニュアルは玄関の「閲覧自由BOX」にあることをお知らせしていく。 ・引き続き、HPやSNSで発信し、毎月のお便りや連絡帳にも記入、お迎え時には直接お伝えしていく。 ・事故防止に努めていくが、発生してしまった時は速やかにお伝えしていく。